



平成15年
9月15日号
No.1141

●毎月5・15・25日発行

広報 かもがわ

●編集発行・鴨川市役所秘書課
広報広聴係
●電話・0470(93)7827
●FAX・0470(93)7850
●鴨川市横渚1450
●郵便番号・296-8601

九月八日から開会している九月定例市議会のなかで、「ごみ処理手数料の有料化」が審議されています。これは、市民の代表や有識者などからなる市環境審議会からの答申や市民皆さんから寄せられた意見を踏まえ、「廃棄物の減量化・資源化と適正処理条例」と「証紙条例」を一部改正する議案を上程していることによるものです。市環境審議会へは、ごみの減量化やリサイクルを促進し、ごみを多く出す人と

9月議会

ごみの有料化を審議 答申や市民の意見を踏まえ

出さない人の負担の公平性を確保していく方策について諮問し、八月二十一日に答申を受けています。答申の主な内容は、①資源循環型社会づくりと負担の公平性の確保のためにごみ処理費用の有料化を図ること②市民の利便性を考慮して指定袋と証紙を使った手数料の徴取方法を導入すること③行政や市民、事業者の責務を明確化すること④旅行者などを含めて制度をしっかりと知らせるとともに不法投棄の防止対策を



強化することなどです。また、市では、ごみ処理手数料の有料化方針を七月発行の「広報かもがわ」などでお知らせし、市民皆さんから、意見をお寄せいただいています。意見では、ごみの有料化については賛成、あるいはやむを得ないとしたうえで建設的な意見が多く、反対意見は少数でした。

市財政は、今、非常に厳しい状況にあります。この原因としては、長引く景気低迷により、市税や地方交付税などの収入が減少している一方で、支出のうち、公共施設の維持費や福祉・健康・医療といった社会保障費、公債費などが増えているためです。こうした財政状況が今後

行財政の健全化を進めます

も続いた場合、やがては支出が収入を上回ることにになり、「財政赤字」に陥ることが懸念されます。財政赤字になると、公共事業の縮小や廃止を行ったり、各種団体への助成を取りやめるなど、これまでの行政サービスが維持できなくなり、また、保険料や各種の負担金、使用料や手数料

行財政の健全化を進めます

料などを引き上げなくてはならなくなります。このような事態を何としても避けるため、市では、これまで行ってきた行政改革に加え、今年度は「行財政健全化プラン」を策定し、平成十七年度までの三年間で、市財政の健全化に取り組んでいくことにします。このプランでは、市税の徴収対策の強化や、受益者負担の適正化という観点から

前原地区

山王講の山車が「江戸天下祭」へ 1世紀ぶりです お里帰り!!

11月22日(土)
～24日(月)



前原地区・山王講の江戸型山車

今年、徳川家康が江戸に幕府を開いてから四百年を迎え、東京・千代田区を中心に一年を通じて様々な記念行事が行われています。こうした中、『甦える江戸の華々天下祭復活と創造の祭典』をテーマに、かつて

人形がせり出す貴重な「江戸型山車」

実りの秋。これから市内の各地区では秋祭り、たけなわとなります。鴨川地区合同祭に参加している前原・山王講の山車が、このほど、江戸開府400年を記念して東京・千代田区で開かれる『江戸天下祭(11月22日～24日)』に招かれることになりました。かつて江戸の天下祭でも活躍していた山車のおよそ1世紀ぶりの里帰り、最終日(11月24日)にはイベント最大の目玉、皇居前でのパレードも行われます。

江戸時代の天下祭に縁のある山車を一堂に会した盛大な記念イベント「江戸天下祭り」が十一月二十二日から二十四日までの三日間、東京・日比谷公園とその周辺で開催されます。

そして、前原地区・山王講の山車もこれに招かれ、およそ一世紀ぶりに里帰りすることになりました。山王講の山車は、江戸天下祭のひとつ、いわゆる神田祭三十五番として、当時の神田新石町(現在の千代田区神田三丁目、鍛冶町二丁目)が所有していました。

具体的には「有料化が始まると、ごみを勝手に置いていたり、山林に捨てたりするなどの不法投棄、野外焼却が心配なので、その対策をとって欲しい」「祝

祭日にも収集するようにして欲しい」「住民負担を求めらるるには収集の民間委託などを通じて清掃業務の効率化を図り、経費の削減に努めて欲しい」「ごみの

収集日を守らない人がいるので、勝手に出していかないよう各戸別収集にして欲しい」などがありました。ごみの有料化については導入時期や手数料などが詳

しく決まり次第、「広報かもがわ」などを通じて皆さんにお知らせしていきます。お問い合わせは市環境課(☎78300)へ

お出かけください

展示やおはやし共演(日比谷) 賑やかなパレードなども

記念イベントの主会場となる日比谷公園では、十一月二十二日(土)から二十四日(月)までの三日間、山車の展示や祭ばやしの競演、引き回しが行われるほ

か、物産市も開かれます。これには、鴨川のPRも兼ねて、市と農・漁業や商工・観光関係者、山王講の皆さんに、首都圏の鴨川出身者でつくる「鴨川ふるさ

と会」の会員も加わります。最終日の二十四日(月)には、このイベントのクラ イマックスとして、地元

山車の引き回しに参加しませんか —11月24日に皇居前—

前原・山王講では『江戸天下祭』最大の目玉、皇居前での引き回し(山車順行)に際し、地区以外の市民の皆さんにも、ぜひ一緒に参加していただくとうと、引き手の方々を募集します。どうぞ、ご参加ください。

- ▷期 日 11月24日(月)午前6時に鴨川市役所集合・出発
- ▷対 象 市内在住者(20歳以上)
- ▷募 集 20人(定員になり次第締め切り)
- ▷参加費 無料(昼食付)
- ▷交通機関 大型バス利用
- ※申し込みは、山王講の白井さん(☎090-2228-5589)へ



として保存しましょう